

(報告様式第3号)

## 改善計画書

事業者名 ( 障害者支援施設 宮崎リハビリテーションセンター )

(2023年4月14日 作成)

改善に向けた事業者のコメント	<p>コロナ禍で感染対策の為、様々な活動を中止もしくは規模を縮小して実施することが多かった。その為、利用者懇談会は中止し利用者からの意見や要望、相談などについては、個別で対応した。また、外部からのボランティアについても受け入れを中止することとなり、コーヒー喫茶は施設の職員のみで実施した。地域での祭りなどの催し物への参加の機会もなくなり、地域との交流も出来なかった。</p> <p>今後は、利用者懇談会を再開し利用者からの意見や要望の聞き取りを行い更なる満足度向上に繋げていく。また、ボランティア受け入れの再開への働きかけや地域での活動への参加の検討を行うことで、地域交流や社会復帰に繋げていく。</p>							
短中長期	No	課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	具体的改善策 (人・予算・情報・手順等)	担当
短期間で出来ること	1	コロナ禍で利用者懇談会が実施出来ていない。	利用者懇談会を実施し利用者の意見や要望を聴く。	半年	2023年4月	2023年9月	①利用者懇談会を毎月1回実施し、利用者からの意見や要望を聴き、反映し満足度向上に繋げる。	福祉課 総務課
	2	意見箱や第三者委員等の活用がほとんどない現状がある。	利用者が意見を述べやすい環境を整える。	3ヵ月	2023年4月	2023年6月	①意見箱の置き場所を検討し利用者が活用しやすくする。 ②相談窓口について利用者懇談会などで説明する。	福祉課 総務課
中・長期間でできること	1	実習指導は、各専門職の特性に配慮したマニュアルがない。	専門職ごとの実習プログラムに合わせたマニュアルを整備する。	1年	2023年4月	2024年3月	①専門職ごとに実習指導マニュアルを作成する。	福祉係 リハビリ係
	2	コロナ禍でボランティアの受け入れが中止している。また、地域行事などに参加する機会もなくなっている。	地域との交流ができ、社会参加や学習の機会を増やす。	1年	2023年4月	2024年3月	①傾聴ボランティアや専門学校と活動再開について検討する機会を作る。 ②祭りなどの催し物に参加できるように支援する。また、外出の機会も増やしていく。	福祉課 総務課

今後検討 すること								